

# プログラム参加後も広がる活動の輪!～事後活動～

## IYEOとは?

1959年から始まった内閣府の青年国際交流事業に参加した青年たちが、国際理解を深め、事業で得た学びを広く社会に還元することを目的として、自主的に発足させた同窓会組織が「日本青年国際交流機構」(IYEO: International Youth Exchange Organization of Japan)です。IYEOは47の全ての都道府県で自主的な団体を組織して、幅広い活動を展開しています。



IYEOマスコットキャラクター「ランナス」  
走る(RUN) +地球(EARTH)

### コンセプト

IYEOには日本全国のみならず国境を越えてたくさんネットワークがあり、青少年の育成を基盤としながら様々な社会貢献活動に取り組んでいます。ランナスは、地球自体が走り回るかのようにいきいきと活動するIYEO会員を表しています。船の帽子と飛行機の靴を身につけて、今日も笑顔で走り続けます。



## 47都道府県 8ブロックで活動中!

<各都道府県IYEOの主な活動>

- ・ブロック大会(青少年国際交流を考える集い)
- ・内閣府青年国際交流事業で招へいされた外国青年の地方プログラム
- ・都道府県独自の国際交流・地域貢献プログラム

## IYEOではどんな活動ができる?

IYEOは、「社会でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指して」を活動方針に掲げ、①青年層の活性化の基盤づくり、②地域社会を活性化するとともに地域に貢献できる人材育成、③国際ネットワークをいかした国際協力活動を柱に様々な活動を展開しています。

① 青年層の活性化の基盤づくり

② 地域活性化・地域に貢献できる人材育成

③ 国際ネットワークをいかした国際協力活動

## ① 青年層の活性化の基盤づくり

### 国際会議やフォーラムに参加する日本代表青年を推薦

IYEOでは、内閣府と協力しつつ、各国政府、国際機関などの要請に基づき、会員である内閣府の青年国際交流事業に参加経験のある青年から、日本代表青年として会議やフォーラムに派遣しています。

<日本代表青年としてIYEO会員を派遣した例(2018年)>

- ・ ASEAN+3 Youth Social Business Summit (マレーシア)
- ・ International Youth Festival to Achieve the SDGs (バーレーン)
- ・ ASEAN+3 Young Entrepreneurs Forum (ベトナム)
- ・ 北方四島交流訪問事業

### 派遣者の感想

バーレーンで開催されたInternational Youth Festival to Achieve the SDGsに参加しました。本イベントは世界各国から青年が集まり、国連が制定するSDGsに向けてどう仕事をしていくか、どう生きていくかを共有し、個々の考えを深めることを目的としていました。今回の派遣を通して学んだこと、感じたことは多くあります。その中でも意識と共有の大切さについて述べたいと思います。

世界で活躍している方のお話を聞く機会がプログラム午前中に組み立てられており、自分の分野でない内容について多くのインプットがありました。アウトプットは参加青年とプログラム外で討論したこと、ベストスピーカー賞をいただいたペチャクチャコンテストでプレゼンをしたことです。プレゼン内容の「ゴール9(産業と技術革新の基盤をつくろう)」は自分の分野でなかったため、調べ学習がとてつもないになりました。どのお話でも、どの討論でも、「常に高い意識を持ち、小さなことから、自分ができることから始めていくことが大切」という結論に至りました。今すぐにはできることのひとつとして大学で体験談をプレゼンする機会が与えられました。大学生と私の体験を共有し、SDGsについて考える機会となればうれしいです。

第30回「世界青年の船」事業参加青年 大須賀 史子



### IYEO自主活動サポート助成金制度(チャレンジファンド)などを用いた、会員のボランティア活動の啓発・促進



チャレンジファンドを活用した例: 障害福祉青年フォーラム in TOKYO (2018年)

「チャレンジファンド」は、IYEOの人的活力をより社会に提供すること、また団体として活性化を図ることを目的として2011年に創設したもので、IYEO会員が自主的な国際交流活動を実施する際に、その活動資金の一部を助成しています。詳細についてはこちらを御覧ください。⇒URL:<https://www.iyeo.or.jp/ja/profile/challengefund.html>

## ② 地域活性化・地域に貢献できる人材育成

IYEO会員は、各地域、職域、学校又は青少年団体等で様々な活動を行っています。各都道府県IYEOの独自活動もありますが、青年国際交流事業に参加するために招へいされた外国青年の地方プログラムを各都道府県IYEOの実行委員会が中心となって企画しています。

### 全国大会・ブロック大会（青少年国際交流を考える集い）

定期的な集まりとして、各地域での事後活動の進捗状況を報告し、活動を更に充実させるための方策について意見交換を行い、国際交流活動を一般の方にも紹介することを目的として年に1回、「全国大会」を、また、全国8ブロックに分かれてブロック大会（青少年国際交流を考える集い）を開催し、近隣都道府県の連携も図っています。

#### 平成30年度（2018年度）ブロック大会（青少年国際交流を考える集い）一覧

ブロック	開催府県	日程	場所	テーマ
北海道・東北	山形県	9/1～2	山形グランドホテル	「地域活動団体の連携によるグローバル人材育成の取組」
関東	千葉県 全国大会	12/1～2	ウイシュトンホテル ユーカーリ	『時代を切り拓く開拓者精神』 ～未来につながる新たな挑戦者を目指して～
北信越	長野県	2019年 3/9～10	ビューホテル嶋田屋	「人とのご縁で世界にジャンプ！」
東海	岐阜県	11/10～11	岐阜文化センター	「地域文化×地域活性化～次世代につなぐ地域の魅力～」
近畿	大阪府	11/3～4	ホテルクレスタいばらき	『大阪の過去・現在・未来～万博を通してサステナブル・シティを考える～』
中国	鳥取県	10/13～14	国際ファミリープラザ	「自分のなかに、地域のなかに、世界のなかに、次の時代の星を輝かせて」 ～地域で考える 魅力、優しさ、個性～
四国	香川県	7/21～22	ルポール讃岐	『小さな島で大きく生きる』～世界から人を呼び込む力を磨こう～
九州	長崎県	2019年 1/26～27	ホテルセントヒル長崎	「ながさき事始」～長崎に息づく異文化を再認識し、多文化共生について考える～

#### 実行委員会の声（2018年度四国ブロック大会）

基調講演に登場する瀬戸内海沖の「男木島」は、四国、ひいては日本も世界から見ると「小さな島」に過ぎません。通信技術の発達により、世界に情報を発信したり、逆に情報を取り入れたりすることが容易になった現在、「小さな島」に暮らす私たちでも、考え方や行動一つで、大きな世界に開かれた生き方が可能です。本大会では、人々を巻き込む力と世界への発信力が様々な能力を持った人材間の協力を促し、地域の活性化につながる様子を学びました。



#### 参加者の声

- ・ 基調講演に関して、実践に基づいた話は、リアルで再現性が高かったです。
- ・ 四国外からの参加でしたが、温かく受け入れてくれました。知らない人ばかりの中、心が温かくなりました。交通アクセス、美味しい食事、うどんのウェルカムサービス、お菓子やお水を配ってくれる配慮、香川の良い雰囲気を感じることができました。
- ・ 四国のIYEOの皆さんの雰囲気が非常に良く、大会を楽しめました。

## ③ 国際ネットワークをいかした国際協力活動

内閣府の青年国際交流事業に参加した青年は日本人のみではありません。約60年の長い歴史の中、既参加青年たちは世界的な人的ネットワークを形成・発展しています。



### 1. SSEAYPインターナショナル SI (SSEAYP International)

「東南アジア青年の船」事業 (SSEAYP) の参加11か国では、IYEOと同様に活動団体を組織し、各国において各種の国際交流活動及び青少年健全育成活動等に寄与しています。SIはSSEAYPに参加することで得られた友情の永続・発展を図るとともに、国際交流活動及び社会貢献活動などにより、各国事後活動組織の活動を展開することを第一の目的としています。年に1回、各国持ち廻りでSIGA (SI総会) が開催されています。



### 2. 「世界青年の船」事後活動組織SWYAA (Ship for World Youth Alumni Association)

「世界青年の船」事業の既参加青年による事後活動組織で、事業で培われた精神の継承を目的に、SWYAA連盟を設立しています。正式加盟国29か国、準加盟国6か国が登録 (2018年5月時点) し、非加盟の関係国と合わせて65か国が連携しながら、各国で社会活動を展開しています。年に1回、活動が活発な国でSWYAGA (SWYAA国際大会) が開催されています。



### 3. 日韓交流連絡会議

日本・韓国青年親善交流事業に参加した日本・韓国両国の既参加青年は、派遣年度や国を越えた既参加青年ネットワークをいかし、日韓交流の更なる発展を目指して、毎年1回、パネルディスカッションやレクリエーションを交えた、日韓交流連絡会議を開催しています。



日本青年国際交流機構 (IYEO)

詳しくはこちら URL: <http://www.iyeo.or.jp/ja/>

日本青年国際交流機構 検索



IYEOのご案内

## ◆事業参加の流れ

### こんな人にお勧め!

- ・国内外の青年とネットワークを形成したい人
- ・国際交流を通じた社会貢献を志す人
- ・実践的なコミュニケーション能力、リーダーシップ、異文化対応力を高めたい人

### 応募

1月下旬～3月

各都道府県の青年国際交流主管課又は全国的な組織を持つ青少年団体へ参加申込書と作文を提出

※年齢条件：18歳～30歳であること

(募集年度の4月1日時点。ただし、「地域コアリーダープログラム」は23歳～40歳)

### 選考

3月～6月

#### 第1次選考(3月～4月)

各都道府県、青少年団体が定める選考試験を受験

#### 第2次選考(5月～6月)

内閣府が、第1次選考の結果に基づいて第2次選考試験の受験者を決定し、実施

### 事前研修

6月～9月

第2次選考試験合格者は、事前研修に参加し、事業の趣旨、内容、訪問国等についての理解を深め、必要な諸準備を行う。

### 事業参加

出発前研修 → 事業参加 → 帰国後研修・報告会

### 事後活動

内閣府青年国際交流事業の参加者を中心とした日本青年国際交流機構(IYEO)が東京都内に本部を置き、47都道府県で団体を組織して、ボランティアによる自主的な活動をしています。その仲間に加わることによって、興味・やる気次第で社会活動に参加するチャンスが広がります。

### 内閣府青年国際交流事業

詳しくはこちら URL: <https://www.cao.go.jp/koryu/>

内閣府青年国際交流

検索



### 青年国際交流2019 「世界を見に行ったら、自分を見つけた」

発行日：2019年1月11日

発行：内閣府青年国際交流担当室

〒100-8914 千代田区永田町1-6-1 中央合同庁舎8号館8階

TEL：03-6257-1434 FAX：03-3581-1609 URL：<https://www.cao.go.jp/koryu/>

編集：一般財団法人青少年国際交流推進センター

(Center for International Youth Exchange) URL: <http://www.centerye.org/>

編集協力：日本青年国際交流機構

International Youth Exchange Organization of Japan (IYEO) URL: <http://www.iyeo.or.jp/ja/>